



台湾が大切にしてきた物語がある

「台湾世界遺産候補地物語展」

会期 2016年5月21日 土 から 6月3日 月

会場 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター

主催



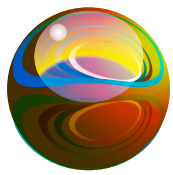
台北駐日経済文化代表処
台湾文化センター

制作協力
資料提供



一般社団法人

日本から台湾の世界遺産登録を応援する会
The Association of Supporting the Registration for Potential World Heritages in Taiwan



知っていましたか？ 台湾に世界遺産がひとつもないことを

現在、台湾が挙げている世界遺産候補地は18箇所。

それぞれに台湾の個性、台湾ならではの自然、文化、歴史について雄弁に物語っています。

特に候補地の中には台湾の教科書にも載っている

八田與一技師が建造した烏山頭ダムや世界三大山岳鉄道にも数えられる阿里山森林鉄道など日本時代に遺された文化遺産も数多く存在します。

台湾が大切にしてきた物語を、もっと日本の皆さんに知っていただきたい。

本イベントがより多角的で、より深い台湾理解に、

そして、さらなる日台友好に繋がることをこころより願っております。



原住民パフォーマンスと台日世界遺産特別対談 『いま、台湾の世界遺産問題と向きあう』

開場 13:00 開演 13:30 (16:00 終了予定) 定員 100名 (入場無料・予約制・自由席)

今から14年前の台湾の世界遺産候補地選定当時からこの試みについて深く関わってこられた、台日の研究者を招き世界遺産候補地のポテンシャルと台湾の世界遺産問題のこれまで、これからについて語り合ってください。また、本イベントの開幕を祝して、台湾原住民のパフォーマンスをご鑑賞いただきます。

パフォーマンス

兒路創作藝術工寮 (アール・アート・チーム)

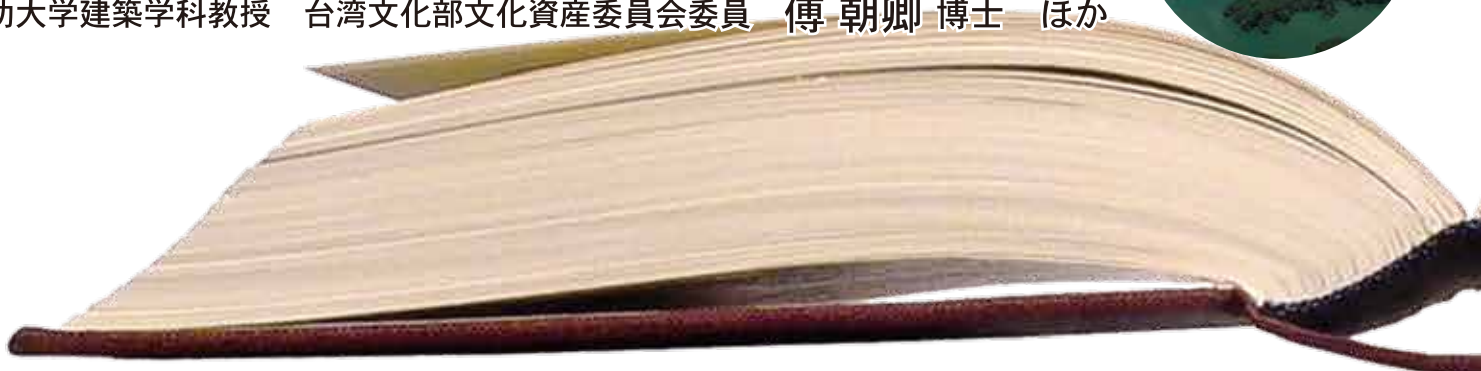
特別対談

東京大学先端科学研究センター教授 台湾文化部顧問

西村幸夫 博士

成功大学建築学科教授 台湾文化部文化資産委員会委員

傅朝卿 博士 ほか



ステージプログラム

5月22日

台湾在住 19年の人気作家片倉佳史が贈る『台湾・世界遺産候補地の旅』

第1部「台湾の絶景と離島の文化に触れる」
第2部「台湾の文化と歴史を探索」

開場 13:00 開演 13:30 (16:40 終了予定) 定員 100名 (入場無料・予約制・自由席)

数多い台湾関連の著作で知られ、台湾好きの日本人でその名前を知らない人はいないと言われる台湾在住の人気作家、片倉佳史氏が台湾全土に点在する世界遺産候補地をめぐり台湾の本物の魅力を発見する新しい旅へと誘います。

又、第1日目に続いて兒路創作藝術工寮による原住民パフォーマンスもご鑑賞いただきます。

パフォーマンス

兒路創作藝術工寮 (アール・アート・チーム)

講演

作家 片倉佳史氏



展示プログラム

5月21日(土) から 6月3日(金)

台湾が大切にしてきた物語がある『台湾世界遺産候補地物語展』

時間 平日 10:00 から 17:00 (ただし他のイベント開催時は土日祝日、時間外でも開館)

会場 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター 視聴閲覧室

多元で多層な文化、歴史、民族。
プレートがぶつかりあってできた起伏に富んだ地形。
標高の高い山には、熱帯、亜熱帯、温帯、寒帯の気候と生態系。
台湾の世界遺産候補地に18箇所には、
台湾が大切にしてきた記憶、物語が凝縮して詰まっています。
すっかり有名になって大活躍の台湾応援ゆるキャラ
タイワンダーと一緒にこの壮大な物語をお楽しみください。



ステージプログラムのご予約方法は裏面をご覧ください。



ステージプログラム講演・出演者プロフィール



西村幸夫 博士

東京大学先端科学技術センター教授
台湾文化部顧問

東京大学先端科学技術センター教授と台湾文化部顧問を務め、その前には東京大学副学長、日本イコモス国内委員会委員長、アジア工科大学大学院連合副会長。多くの世界遺産にて、例えば、マレーシアのペナン州とムラカ州、韓国の慶州市とソウル市、ネパールのカトマンズとルンビニなどでのユネスコ顧問、そして台湾行政院文化建設委員会主席名誉顧問を担当していた。2013年5月台湾歴史資源経理学会により招かれて、台湾で北川フラムと『地域再生の多様性について』交流をしていた。



傅朝卿 博士

成功大学建築学科教授
台湾文化部文化資産委員会委員

イギリスエディンバラ大学の建築博士、台湾成功大学建築学部教授。傅先生は長期にわたり、台湾近現代建築史及び文化資産の保存に力を入れている。成功大学建築学部建築学科主任及び財団法人台南市文化基金会理事長、行政院文化建設委員会古蹟と歴史建築審議委員会、集落及び文化景観審議委員会、そして世界遺産推進委員会委員などを担当していた。20数年以來、世界と台湾近現代建築と文化遺産保存を研究テーマに、著作は季刊、学術論文、専門書、研究報告など数百に及ぶ。しかも、金鼎賞（台湾文化部の最高出版アワード）を4度も獲得されたことがあり、2009年には台湾建築学会が出している最高名誉の『建築文化芸術賞』を受賞。



片倉佳史 氏

作家

1969年神奈川県生まれ。早稲田大学教育学部教育学科卒業後、出版社勤務を経て台湾と関わる。台湾に在住し19年。台湾に残る日本統治時代の遺構を調査し、それらを記録している。地理・歴史、原住民族の風俗・文化、グルメ、鉄道などのジャンルで執筆・撮影を続けており、これまでに手がけてきた旅行

ガイドブックは30冊を数える。現在はラジオ番組、テレビ番組の企画や出演も行なう。さらに、日本および台湾での講演活動も数多く行っている。

**兒路創作藝術工寮
(アール・アート・チーム)**

タロコ族アーティスト東冬侯温の元に集まった原住民の青少年からなる集団。現代社会に生きる原住民が原住民として誇りを持って本来の精神を持って生きる様を体現している。メンバーの中には子供のころから当たり前村の生活様式に触れて育った者もいれば、都会で生まれ育ちアールに入るまでは自身の部族に伝わる歌謡を知らなかった者もいる。また、歌唱だけではなく、織布や刺繍、木工芸をはじめとした伝統生活様式を学び、アイデンティティーを追究することでさらに外へと発信している。こうした活動をする若者のグループは台湾でも珍しく、各方面から注目されている。



董美馨 (シマフィフ)

タウ族

食べることで好きでしっかりものでアールのリーダー的存在。今回唯一の女性メンバー。



黃林育麟 (テム・ファツァオ)

タイヤル族

食天然マイペースでいつも皆の笑いを誘う。幼いころから祖母に育てられ、タイヤルの文化を学びながら育つ。



曾天齊 (ハロウス・ムク)

タイヤル族

ちょっと恥ずかしがり屋だけど真面目で何事にも真剣に取り組む口琴、木琴の名手。



曾陳峻雄 (フダイ・マナコ)

パイワン族

歌うこと踊ることが大好きな明るく元気いっぱい青年。



台北駐日経済文化代表処
台湾文化センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-12 虎ノ門ビル2F



ステージプログラムのご予約

mocotokyo@gmail.com

ステージプログラムのご予約は上記メールアドレスに、お名前とご連絡先電話番号、希望プログラム名、開催日、参加人数（2名まで）を記載の上お送りください。（定員100名になり次第お申し込み受付は終了いたします）

お問合せ



一般社団法人

日本から台湾の世界遺産登録を応援する会

The Association of Supporting the Registration for Potential World Heritages in Taiwan

http://www.wh-taiwan.com/

Mail : info@wh-taiwan.com

お問合せ受付時間：月～金 10：30～17：00
時間外および土日祝日はご対応しておりません。